

日本プロセス化学会第 26 回理事会議事録

日時 平成 25 年 11 月 29 日(金) 11 時 35 分～13 時 00 分
場所 仙台市民会館 1F 第一会議室
出欠 出席 23 理事(1 代理) 1 名誉会長 2 監事 欠席 2 理事

議題

1 確認・報告事項

- (1) 第 25 回理事会議事録(学会HPご参照)が承認された
- (2) 2013 年度通常総会議事録(学会HPご参照)が承認された
- (3) Summer JSPC 2013 報告と収支決算について(資料 1)承認された
- (4) JSPC 優秀賞 2013 について(資料 2、学会HPご参照)承認された
- (5) 2013 合同ウィンターシンポジウム現況が報告された
- (6) 2014 Summer シンポジウム(2014 年 7 月 31, 8 月 1 日タワーホール船堀)準備状況が報告された
- (7) 2014 Winter シンポジウム(2014 年 12 月 5 日富山国際会議場)が報告された
- (8) 第 8 回プロセス化学ラウンジ準備状況(2013 年 12 月 5, 6 日湯河原、満員盛況)が報告された
- (9) 第 9 回プロセス化学ラウンジ準備状況(2014 年度)が報告された
- (10) The 3rd International Symposium on Process Chemistry [ISPC 2015] 状況(20150713-15 Kyoto)が報告され、講演者の推薦が奨励された
- (11) プロセス化学会編集単行本(有機合成協会共同企画の現況、橋本企画)について報告された
- (12) 日本薬学会第 134 年会(2014 年 3 月 27-30 日、熊本)シンポジウムについて報告された
- (13) 地区フォーラム(中国四国フォーラム 2014 年 1 月 11 日(土)、鹿島地区、富山地区)について報告された
- (14) 出前講義の実施報告(5 件 275 冊)がなされた

2 協議事項

- (1) JSPC 表彰委員会から会則、細則の改正案が報告され、来年総会で承認後実施することが了承された。但し、3 年任期に伴う全理事交代の事態を回避する案を前以て提案することとなった
- (2) 日印プロセス化学コンファレンス(31 参加者 2014 年 1 月 29 日-31 日 Hotel Ramada on Juhu Beach, Mumbai)実施が了承された

資料1 JSPC2013 サマーシンポジウム報告 加藤敏久理事

招待講演	11			
ポスター	86			
参加総数	674名			
事前参加登録者	572名			
当日参加登録者	91名			
招待講演者	11名			
情報交換会参加登録者		483名		
企業展示会参加	92社			
講演要旨集		制作部数	1300冊	残部数 210冊

総合収支	(単位 円)	2013年	(2012年)
A収入	参加費収入	3012000	(2922000)
	展示・広告・収入	5426120	(5144578)
小計		8438120	(8066578)

参加費収入内訳

シンポジウム登録収入	304件	1436000
情報交換会	483件	1576000
計		3012000

B支出	会場費用	1983618	(1154895)
	飲食関連	269453	(364590)
	情報交換会費用	2635444	(2200000)
	運営費用	4648737	(4403451)
小計		9537252	(8443136)
A-B 差し引き (学会補助)		-1099132	(-376558)

資料2 JSPC 優秀賞 2013 3件

NaBH₄ と TFA を用いたラクタム還元反応のプロセス開発～安全性評価とスケールアップ～
○奈賀高志、外山健一、小澤宏樹 (田辺三菱製薬(株))

スルフィドの新規イミド触媒的 NaOCl 酸化反応の開発と医薬品候補化合物への応用
○福田直弘、澤井泰宏、山崎健、湊幸雄、佐川隆司、稲垣敦士、浦山真一、池本朋己 (武田薬品工業(株))

BF₃・THP を用いるシリルエーテルからエステルへのワンステップ保護基変換反応
○加藤淳輝、小山泰人、折山剛 (茨城大学)